

森美術館リニューアルオープン記念

シンプルなかたち展：美はどこからくるのか

2015年4月25日(土)ー7月5日(日) 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

森美術館×ポンピドゥー・センター・メス×エルメス財団、共同企画！
[最新情報] パブリックプログラム詳細決定：カールステン・ニコライ、グザヴィエ・ヴェイヤンも登場

森美術館は、2015年4月25日(土)から7月5日(日)まで、リニューアル・オープンを記念して、「シンプルなかたち展：美はどこからくるのか」を開催します。

19世紀から20世紀にかけて、ヨーロッパでは数学、機械工学、生物学、地質学や考古学の探求の中で「シンプルなかたち」の美学が再認識され、工業製品や建築のデザインなどに多大な影響を与えました。同様に、その品格ある魅力は多くのアーティスト達を魅了し、近代美術の多数の名作を生み出しました。

一方、このような単純で美しい「シンプルなかたち」は、自然の中や、世界各国のプリミティブアート、民俗芸術、伝統文化の中にも、数多く見出すことができます。日本においては、工芸品や茶道具、仏像や禅画などに同様の美学が体现されています。

本展は、このような古今東西の「シンプルなかたち」約130点を9つのセクションで構成します。古くは先史時代の石器から、現代アーティストによるダイナミックで先鋭的なインスタレーションまで、地理的なひろがりや歴史的なつながりを示しながら展望し、時空を越えた普遍的な美を描き出します。「シンプルなかたち」が備える普遍的な美は、私たちが生きる上で真の豊かさとは何かを問い直すことでしょう。



アンリ・マティス
 「ジャズ」9 形態
 1947年
 ステンシル、紙
 40.8 x 57.7 cm
 所蔵：神奈川県立近代美術館

出展作家 ※姓のアルファベット順

ジャン・アルプ、エティエンヌ・ピオティ、カール・ブロスフェルト、
 コンスタンティン・ブランクーシ、ブラッサイ、長次郎、
 ル・コルビュジエ(コレクターとして出展)、マルク・クチュリエ、
 マルセル・ダッソー、アルブレヒト・デュラー、
 オラファー・エリアソン、円空、ルチオ・フォンタナ、
 スザンナ・フリッチャー、橋本平八、バーバラ・ヘップワース、
 池田雅、ジャン＝パティスト・ロメ・ド・リール、
 アン・ヴェロニカ・ヤンセンズ、
 トーマス・ジェファーソン(発案者として出展)、
 アニッシュ・カプーア、エルズワース・ケリー、クー・ボンチャン、
 ジェルメーヌ・クルル、フランティシェク・クプカ、黒田泰蔵、
 李禹煥、ロバート・メイブルソープ、
 エティエンヌ＝ジュール・マレー、アンリ・マティス、
 アンソニー・マッコール、ジョン・マクラッケン、ヘンリー・ムーア、
 パトリック・ヌー、カールステン・ニコライ、西川勝人、大巻伸嗣、
 岡田紅陽、岡崎和郎、ガブリエル・オロスコ、
 シャルロット・ベリアン、アントワーヌ・ベグスナー、パブロ・ピカソ、
 マン・レイ、ロベール・ル・リコレ、メダルド・ロッシ、
 エマニュエル・ソーニエ、仙厓、雪舟、ホセ・マリア・シシリア、
 カール・シュトルーエ、杉本博司、田中信行、
 ヴォルフガング・ティルマンス、蔡佳蔵(ツァイ・チャウエイ)、
 グザヴィエ・ヴェイヤン、ノット・ヴィタル、ウェンツェル

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

本展のみどころ

● ポンピドゥー・センター・メスとエルメス財団による初の共同企画展、日本巡回

パリのポンピドゥー・センターの分館として2010年にオープンした、ポンピドゥー・センター・メス。コレクションを持たず、独自の企画展を開催する同館が開館4周年を記念し、エルメス財団との初のコラボレーションにより実現した展覧会が、日本に巡回します。展示は森美術館のために再構成し、日本展ならではの作品も登場します。ポンピドゥー・センター・メスの展覧会の日本巡回は今回が初めてとなります。

● フランスの有名美術館・博物館のコレクションから、名品が多数出展

ポンピドゥー・センターをはじめ、ピカソ美術館、ル・コルビュジエ財団、パリ工芸博物館、ケ・ブランリ美術館、国立自然史博物館など、フランスの名だたる美術館、博物館のコレクションから、本邦初公開品を含む名品を多数出展します。

● 時代やジャンルを越えて、古今東西の「シンプルなかたち」を一堂に展示

古くは先史時代の石器から現代アートまで約2万年の時を隔て、また、美術や工芸、デザインの領域のみならず、考古学、生物学、数学、物理学、機械工学に至るまで、ジャンルを越え、世界各地から集められた「シンプルなかたち」約130点を一堂に展示します。

● 日本限定、長次郎の黒樂茶碗など日本文化の名品も登場

日本文化に体现されてきた単純で美しいかたちとして、仙厓の円相図、円空仏をはじめ、長次郎の黒樂茶碗や二月堂の根来のお盆など、日本の美術史を彩る名品を展示します。

● 森美術館のための新作

グザヴィエ・ヴェイヤン、エマニュエル・ソーニエ、大巻伸嗣などの日仏の現代アーティストたちが森美術館の広い空間を活かした大型の新作インスタレーションを、また、田中信行、黒田泰蔵も新作を発表します。

ポンピドゥー・センター・メス

2010年、パリのポンピドゥー・センター初の分館として、フランス北東部ロレーヌ地方の首都であるメスにオープンした、近現代アートに特化した文化複合施設です。ポンピドゥー・センターが培ってきた経験、知見、国際的な評価を引き継ぐとともに、革新さと寛容さをモットーに、様々なプログラムを通じて全ての人に開かれた施設を目指しています。斬新な建物は、坂茂とジャン・ドゥ・ガスティーヌの日仏共同チームにより設計されました。

エルメス財団

エルメス財団は、人々や組織が技術を学び、習得し、伝承することをサポートし、その技術と創造性によって現代社会の発展に寄与するとともに、新たな未来をつくり出すことを目的としています。職人のもつ熟練の技と現代美術の創造性という赤い糸に導かれ、財団は「技術と創造」と「技術と伝承」、この二つが出会い、相互に発展しあう世界への貢献を目指しています。

造形美術の分野においては各国での展覧会や「アーティスト・イン・レジデンス」、舞台芸術の分野では「ニュー・セッティング」、デザイン分野では「エミール・エルメス賞」、さらに「技術アカデミー」、生物多様性の分野における新プロジェクトの公募など、財団は独自のプログラムを展開し、また、これらの分野で活躍する世界中の団体を支援しています。エルメス財団の多岐にわたる活動は、すべて共通の理念「我々の行いが、我々を創造する」を原点としています。



Centre Pompidou-Metz, avril 2010
© Shigeru Ban Architects Europe et Jean de Gastines Architectes, avec Philip Gumuchdjian pour la conception du projet lauréat du concours / Metz Métropole / Centre Pompidou-Metz / Photo Roland Halbe

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

開催概要

主催：森美術館、ポンピドゥー・センター・メス **特別共催：**エルメス財団

助成：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、笹川日仏財団

協賛：株式会社大林組

協力：エールフランス航空／KLMオランダ航空、シャンパーニュ ポメリー、ボンベイ・サファイア

キュレーター：ジャン・ド・ロワジー(パレ・ド・トーキョー プレジデント)、南條史生(森美術館館長)

アソシエイト・キュレーター：サンドラ・アダム＝クラレ(インデペンデント・キュレーター)、椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

会場：森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階

開館時間：10:00-22:00 | 火10:00-17:00 | *4/25(土)は「六本木アートナイト2015」開催に伴い翌朝6:00まで *5/5(火・祝)は22:00まで *いずれも入館は閉館時間の30分前まで *会期中無休

入館料：一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子供(4歳~中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円

*表示料金に消費税込 *4/29(水・祝)以降は、本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く) *スカイデッキへは別途料金がかかります。

お問い合わせ：Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

展覧会概要

現代社会における交通手段や情報分野などの技術革新は、経済・文化・人の交流にかつてない広がりをもたらし、我々の生活や社会は、きわめて多様で複雑な様相を呈しています。アートの形式も、音や光を扱ったものから、パフォーマンス、そして観客の参加を核としたものまで、その領域は定義し難い広がりを見せています。

こうしたアートの急激な革新は、19世紀から20世紀にかけてのヨーロッパで始まったと言えるでしょう。数学、物理学、機械工学、生物学、などにおける新たな発見、発明によって近代化と呼ばれる大きな変化が生まれました。近代の思想は、機能美という考え方を生み出し、また自然やその根底に宿る科学的な原理が作り出す基本的な形態に目を向けるようになりました。その結果、シンプルな美学が注目され、工業製品や建築のデザイン、そして芸術にも多大な影響を与えました。こうした近代の美的方向を反映して多くのアーティストが、シンプルな形態を持った、近代美術の名作を残しました。

一方、このような単純で美しい形は、自然の中や、多くの国の伝統文化の中にも見出すことができます。石器やバード・ストーンなどのように、世界各地のプリミティブアートや民俗芸術の中にも多くの「シンプルなかたち」が登場します。また日本においては工芸品、茶道具、仏像や禅画などに、同様の美学が体現されてきました。

本展では、このような古今東西の「シンプルなかたち」の中から選りすぐって約130点を収集し、それらを1. 形而上学的風景、2. 孤高の庵、3. 宇宙と月、4. 力学的なかたち、5. 幾何学的なかたち、6. 自然のかたち、7. 生成のかたち、8. 動物と人間、9. かたちの謎、という9つのセクションに分けて紹介します。古くは先史時代の石器にはじまり、ダイナミックで先鋭な現代美術のインスタレーションに至るまで、時空を越えた普遍的な美を描き出します。

グローバル化の波の中で持続的成長と共存という課題に直面する我々が、多様性の先に見出すべきものは、誰でも共有しうる本質的な普遍性なのではないでしょうか。「シンプルなかたち」が備える静謐かつ詩的で普遍的な美は、飾らず、おごらず、原点に立ち返るシンプルな生き方を促し、我々が生きる上での真の豊かさとは何かを問い直すことでしょう。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

セクション

■ Sec.1 形而上学的風景

ル・コルビュジエが浜辺で拾った石やシャルロット・ベリアンが写した木片など、一見無用なオブジェは、美とは何かを私たちに問いかけます。そこには、単なる素材でありながら同時にかたちでもあるという、絶妙な均衡が存在しているのです。ブラッサイの彫刻にみられる曲線や岡田紅陽が写真に収めた富士山、杉本博司の「海景」は、それを飽くことなく眺めていられるほどの美しさをそなえています。このように、さまざまなオブジェや風景のシンプルな美しさは、私たち自身が見出すものだともいえるでしょう。

■ Sec.2 孤高の庵

シンプルな美は古今東西において尊ばれ、その静謐さは人々に精神的な拠り所を与えてきたといえます。本章では、グザヴィエ・ヴェイヤンが世界の美について静かに考えるための空間を作り、その中には、シンプルな美を昇華させたさまざまなオブジェや工芸品——長次郎の黒樂茶碗、根来塗のお盆、円空仏、ポリネシアの枕など、あらゆる時代のオブジェ——が並びます。私たちがこの空間に入り、その美を味わう時、この場は孤高の庵となることでしょう。

■ Sec.3 宇宙と月

人類が古代から眺めてきた月は、おそらく、人間にインスピレーションを与えた最初のかたちでしょう。絶えず変化する月の光は、数々の神話や畏怖、妄想を生み出してきました。月の満ち欠けはエネルギーや生の息吹を表象し、丸を描いた円相は宇宙を表します。月や円相のシンプルなかたちは、自然の中に存在する目に見えない力の表出として私たちを魅了します。仙厓の円相図、李朝の白磁壺、オラファー・エリアソンのインスタレーションは、世界に存在するそのような諸力と一体となり、調和したかたちを生み出しています。

■ Sec.4 力学的なかたち

19世紀末から20世紀初頭にかけての科学技術の進歩は、新しいシンプルなかたちを生み出し、芸術家たちを虜にしました。プロペラの美に魅了されたマルセル・デュシャンは、「絵画は終わった。このプロペラに勝るものをいったい誰がしてくれるか」と語り、航空力学に触発されたコンスタンティン・ブランクーシは、基本的な線だけで生の躍動を表現する彫刻を生み出しました。本章では、当時の芸術家たちを魅了したであろうプロペラをはじめ、ブランクーシや田中信行の彫刻、空気の流れを表現する大巻伸嗣のインスタレーションなどを紹介します。



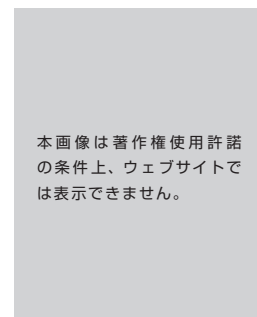
杉本博司
《スベリオール湖、カスケード川》
1995年
ゼラチン・シルバー・プリント
119.4 x 149.2 cm
Courtesy: Gallery Koyanagi



長次郎
《まこも》
安土桃山時代(16世紀)
黒樂茶碗
8.7 x φ 10.6 cm
所蔵：藤田美術館、大阪



オラファー・エリアソン 《丸い虹》 2005年
アクリルプリズム、銅、アルミニウム、モーター、三脚、
HMIランプ サイズ可変
展示風景：原美術館、東京、2005年
撮影：Jens Ziehe
Courtesy: neugerriemschneider, Berlin; Tanya
Bonakdar Gallery, New York



コンスタンティン・ブランクーシ
《空間の鳥》 1926年(1982年鑄造)
ブロンズ、石灰岩(台座)
132.4 x 35.5 x 35.5 cm(本体と台座中段まで)
所蔵：横浜美術館
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014
D0911

本画像は著作権使用許諾
の条件上、ウェブサイトでは
表示できません。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

■ Sec.5 幾何学的なかたち

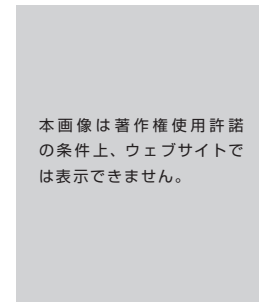
幾何学的なイメージは、物理学的、数学的な規則性を表現したものといえるでしょう。18世紀の結晶学概論や、時空間内の現象を表した19世紀末の現象数学は、結晶モデルや幾何学模型などの予期せぬかたちを生み出してきました。これらは、芸術の中に抽象芸術以前の抽象的なかたちという、まったく新しい価値基準を導入したために、芸術家たちを刺激しました。本章では、幾何学模型からインスピレーションを得たアントワーヌ・ペヴスナーや杉本博司、黒田泰蔵、アンソニー・マッコールの作品などを、水晶の結晶モデルや幾何学模型とともに紹介します。



アンソニー・マッコール 《円錐を描く線》
1973年
映像インスタレーション サイズ可変
展示風景：ロシユシュアル現代美術館、2007年
撮影：Freddy Le Saux
*参考図版

■ Sec.6 自然のかたち

20世紀初頭、生物学の新しい研究テーマとなったのは、生命、自然における植物の成長サイクルや形態形成でした。生物学は細胞や分子のレベルにまで到達し、人間がこれまで目にしたことのない図像やイメージを生み出しました。芸術家はこれらの特徴的な曲線を観察することで、萌芽や流動性にインスピレーションを得た作品を制作するようになったのです。本章では、ジャン・アルプ、エルズワース・ケリー、カール・ブロスフェルト、西川勝人などの作品を通して自然のかたちに焦点を当てます。

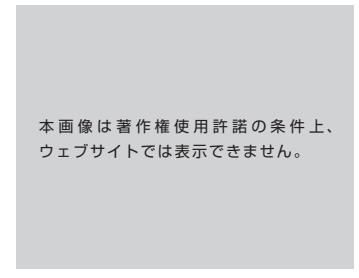


本画像は著作権使用許諾の条件上、ウェブサイトでは表示できません。

ジャン・アルプ 《つぼみ》
1938年 石膏 40.5 x 19 x 20 cm
所蔵：ボンビドゥー・センター 国立近代美術館、パリ
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / Adam Rzepka / distributed by AMF
© VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2014 D0911

■ Sec.7 生成のかたち

豊穣はしばしば、生成や生殖を喚起するかたちによって表現されてきました。宇宙卵、リング、妊娠の姿など豊穣や官能を表すかたちは、創造的エネルギーの象徴として崇められてきました。たとえば、男根のかたちをしたリングは、破壊と創造の神であるシヴァ神の象徴でもあります。19世紀になって初めて、受精や胚形成についての基本原理が明らかになりましたが、古来より芸術家は、こうしたかたちを象徴的なものとして表現してきました。本章では、卵や新生児を想起させるコンスタンティン・ブランクーシの作品、妊娠を表現したアニッシュ・カプーアの作品に加えて、リングやタントラ・ドロイングなど生成のかたちを紹介します。



本画像は著作権使用許諾の条件上、ウェブサイトでは表示できません。

アニッシュ・カプーア 《私が妊娠している時》
1992年 ミクスト・メディア サイズ可変 個人蔵
撮影：Dave Morgan
© Anish Kapoor. All rights reserved, DACS 2014 D0911

■ Sec.8 動物と人間

古代文明には、キクラデス文明の頭部像や、王朝誕生前のエジプトの人体像などにみられるような、人間の身体に関するきわめてシンプルな表象が数多く存在していました。これらの簡潔な表現は、考古学の発掘調査によって19世紀に再発見され、当時の芸術家たちを魅了しました。動物の表象についても同様で、具象的にかたちの再現を試みるのではなく、輪郭だけで躍動感あふれる生命を描き出しました。本章では、キクラデス文明の頭部像や古代エジプトの魚のかたちをした化粧パレット、北米先住民族のバード・ストーンやバナー・ストーンからパブロ・ピカソによる雄牛図、日本の変わり兜、メダルド・ロッシ、アンリ・マティスによる人体像、ノット・ヴィタルの大型の頭像まで、さまざまな生物のかたちを紹介します。



作者不詳 《バード・ストーン、北アメリカ》
制作年不明
粘板岩
4.8 x 10.2 x 2.5 cm
アーレンベルグ・コレクション、スイス

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

■ Sec.9 かたちの謎

「シンプルなかたち」には、私たちの理解を超えた神秘が宿っているのではないのでしょうか。私たちはそこに、謎——何らかの象徴や解読すべきメッセージ——を投影します。たとえば、スタンリー・キューブリックの『2001年宇宙の旅』に登場する黒いモノリスは、その無機質な表面ゆえにかえって我々を夢想へと誘うのです。また、アルブレヒト・デューラーの《メランコリア I》に出てくる多面体、そして、これにインスピレーションを受けたカールステン・ニコライの黒い多面体の作品も、モノリスにつながる謎を秘めています。さらにエマニュエル・ソーニエの神秘的な細長いガラスのオブジェは存在の儚さを表現しています。これらの不可解なかたちには、自らの起源を絶えず探し求める人類の秘密が隠されているのでしょうか？ それは、すべての始まりの場所、世界のあらゆる姿の隠喩なのかもしれません。



カールステン・ニコライ 《アンチ》 2004年
ポリプロピレン製軽量構造体、サウンド・モジュール、
テルミン・モジュール、トランスデューサー、アンプ、
光吸収塗料
300 x 255 x 255 cm
展示風景：シルン美術館、フランクフルト/メイン、
2005年
撮影：Uwe Walter
Courtesy: Galerie EIGEN + ART, Berlin / Leipzig
and The Pace Gallery

作品の展示替えについて

本展では、下記作品の展示替えがあります。ご了承ください。

- ・長次郎《まこも》藤田美術館蔵、大阪(展示期間：4/25-5/19)
- ・長次郎《太夫黒》北村美術館蔵、京都(展示期間：5/20-7/5)
- ・雪舟《漁樵問答図》公益財団法人 泉屋博古館蔵、京都(展示期間：4/25-6/2)
- ・池大雅《梅花月図》京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)(展示期間：6/3-7/5)
- ・仙厓《円相図》福岡市美術館蔵(展示期間：4/25-6/2)
- ・仙厓《円相図》九州大学文学部蔵、福岡(展示期間：6/3-7/5)
- ・《二月堂練行衆盤》個人蔵(展示期間：4/25-6/2)
- ・《根来 足付折敷 五枚組》個人蔵(展示期間：6/3-7/5)

❓ 展覧会関連パブリックプログラム

◆ オープニング・プログラム

トークセッション

『『シンプルなかたち展』を企画者自ら語る』 ※日英同時通訳付

本展キュレーターのジャン・ド・ロワジー(パレ・ド・トーキョー プレジデント)と南條史生(森美術館館長)が、展覧会のコンセプトや参加アーティストの選定、展示作品について紹介します。

出演：ジャン・ド・ロワジー(パレ・ド・トーキョー プレジデント、本展共同キュレーター)、
南條史生(森美術館館長、本展共同キュレーター)

日時：2015年4月25日(土)13:30-15:30(開場：13:00)

会場：アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)

定員：150名(要予約) 料金：一般1,000円、MAMCメンバー無料

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum



ジャン・ド・ロワジー
© Pierre-Anthony Allard, 2014

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

アーティストトーク 「MY WORK」

第1回 ※日英同時通訳付

展覧会のために来日する本展出展アーティストが、自作について語ります。

出演：カールステン・ニコライ、グザヴィエ・ヴェイヤン

日時：2015年4月25日(土)19:00-21:00(開場：18:30)

会場：森美術館展示室内 定員：80名(要予約) 料金：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

第2回 ※日本語のみ

日本在住の本展出展アーティストが、自作について語ります。

出演：大巻伸嗣、黒田泰蔵

日時：2015年6月13日(土)14:00-16:00(開場：13:30)

会場：森美術館展示室内

定員：80名(要予約) 料金：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum



カールステン・ニコライ
Photo: Sebastian Mayer, 2005



グザヴィエ・ヴェイヤン
© Diane Arques/ADAGP, Paris, 2015



大巻伸嗣



黒田泰蔵
撮影：木寺恵吾

◆ギャラリートーク ※日本語のみ

森美術館スタッフが、展示室内でツアー形式のトークをおこないます。

日時：2015年5月13日(水)19:00-20:00

2015年5月27日(水)14:00-15:00

2015年6月10日(水)19:00-20:00

2015年6月24日(水)14:00-15:00

会場：森美術館展示室内 定員：各回15名 料金：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：不要(当日先着順、展覧会場入口にお集まりください)

◆音楽ワークショップ

「円相から演奏まで」 ※日英逐次通訳付

原始的な文化の根源には、かたちと共に音楽がありました。夜の美術館で感覚を研ぎ澄まし、時代を超えて共通する思想、哲学、アートに触れる旅にでかけませんか。本展出展作品である仙厓の《円相図》や、作曲家林光による目に見えない「風」を描いた楽曲《Winds》は、共に旅への扉を開けてくれるでしょう。本ワークショップでは、実際に楽器に触れながらイメージと音楽とのつながりを探ります。

講師：マイケル・スペンサー(日本フィルハーモニー交響楽団コミュニケーション・ディレクター)、
日本フィルハーモニー交響楽団楽員

日時：2015年5月12日(火)18:30-21:30(受付開始：18:00)

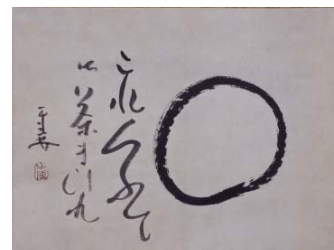
会場：森美術館展示室内

対象：高校生以上

定員：40名(要予約/抽選) 料金：高校生以上2,000円、MAMCメンバー無料

主催：森美術館、公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum



仙厓
《円相図》
江戸時代後期(19世紀)
紙本墨画 37 x 49.4 cm
所蔵：福岡市美術館

本ワークショップは、日本フィルハーモニー交響楽団第670回東京定期演奏会[5月15日(金)、16日(土)開催]との連携企画です。

日本フィルハーモニー交響楽団第670回東京定期演奏会

http://www.japanphil.or.jp/concert/detail_118.html

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

◆おやこでアート ※日本語のみ

ベビーカーに乗っている赤ちゃんから、小さなお子さままで、おやこでアートを楽しむことのできるツアーです。お子さまの年齢に合わせて、ご希望のツアーをお選びいただけます。

■おやこでおしゃべりツアー

おしゃべりを始めたお子さまと、作品を見ながら展示室を回るツアーです。お子さまの視点に立って、おやこで一緒にお楽しみいただけます。

日時：2015年5月23日(土)11:00-12:00

対象：未就学児(4~6歳)とその保護者

定員：10組(要予約/抽選) **料金**：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

※申込受付期間：2015年3月25日(水)-5月6日(水)

※抽選結果は5月7日(木)-5月11日(月)にメールにてご連絡いたします。

■ベビーカーツアー

小さなお子さまを連れた保護者の方を対象としたツアーです。ベビーカーでご来館されても安心してお楽しみいただけます。

日時：2015年6月16日(火)11:00-12:00、14:00-15:00

対象：未就学児(0~3歳)とその保護者 **定員**：各回10組(要予約/抽選) **料金**：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

※申込受付期間：2015年3月25日(水)-5月21日(木)

※抽選結果は5月22日(金)-5月25日(月)にメールにてご連絡いたします。

◆アクセスプログラム ※日本語のみ**■耳と手でみるアート**

視覚に障がいがある方を対象とした、スタッフとの対話を通して作品を楽しむツアーです。

日時：2015年6月6日(土)10:30-12:00

対象：視覚に障がいがある方 **定員**：6名(要予約) **料金**：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum または、電話(03-6406-6101)

■手話ツアー

手話と言葉で展覧会を楽しむツアーです。手話をお使いにならない方も気軽にご参加ください。

日時：2015年5月29日(金)19:00-20:00

2015年6月6日(土)14:00-15:00

対象：一般 **定員**：各回10名(要予約) **料金**：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum または、ファックス(03-6406-9351)

◆学校プログラム ※日本語のみ**■先生のためのツアー**

美術館のご案内とともに、展覧会を授業で活用する方法について考えます。

日時：2015年5月15日(金)18:30-20:00

対象：保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学、専門学校の先生 **定員**：50名(要予約) **料金**：無料

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

■ 学校と美術館のためのプログラム

子どもの教育とアートについて、学校の先生と美術館スタッフがディスカッションを通して共に学び合います。図工や美術のみならず、他教科の先生もぜひご参加ください。

日時：2015年7月1日(水)18:30-20:00

対象：保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学、専門学校の先生 **定員**：20名(要予約) **料金**：無料 **会場**：森美術館

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

※出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

パブリックプログラムに関するお問い合わせ：

森美術館 パブリックプログラム

電話：03-6406-6101(月～金：11:00-17:00) Fax：03-6406-9351 E-mail：ppevent-mam@mori.co.jp

関連企画

■ 「線を聴く」展

「シンプルなかたち展」の開催に合わせ、銀座メゾンエルメス フォーラムにて、「シンプルな「線」を考察する展覧会「線を聴く」を開催。私たちの想像力の源である自然の中に見出すことのできる線や、線の生まれる場所に焦点をあてた作品をグループ展形式で紹介します。

会期：2015年4月24日(金)～7月5日(日)

会場：銀座メゾンエルメス フォーラム

主催：エルメス財団

広報問い合わせ：エルメスジャパン株式会社 (Tel: 03-3569-3640/E-mail: k-sawada@hermes.co.jp)

- 最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトのプレス画像ストックより申請、ダウンロードいただけます。

<https://mam-media.com/jp/press-img>

- 一部、プレス画像ストックにない画像もございます。ご希望の際は、森美術館広報宛メールまたはFAXにてお問い合わせください。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館